

# 鎌田一丁目・二丁目 水害時避難行動マップ (野川・仙川版)

平成29年3月版 発行：世田谷区砧総合支所 地域振興課  
TEL：03(3482)2169 FAX：03(3482)1655

■避難所一覧 (A→B→C→D) の順に開設する予定です。 ▲避難所の出入口を示します。

<b>A</b> 鎌田区民集会所 鎌田2丁目1-14 会議室 35人収容 区が早い段階で開設します。	<b>B</b> 砧南中学校 鎌田3丁目13-20 体育館 1974人収容 03-3417-6791(代表) 野川が氾濫せずに、野川水道橋・吉沢橋が渡れる場合に避難が可能です。	<b>C</b> 駒澤大学 玉川校舎 宇奈根1丁目1-1 第一体育館 1050人収容 03-3700-2767(代表) 区の要請により避難所として開設します。 (駒澤大学は、24時間守衛が滞在しています。)	<b>D</b> ゆうぼうと世田谷レクセンター 鎌田2丁目17-1 体育館 600人収容 03-3709-0161(代表)
---	--	--	--

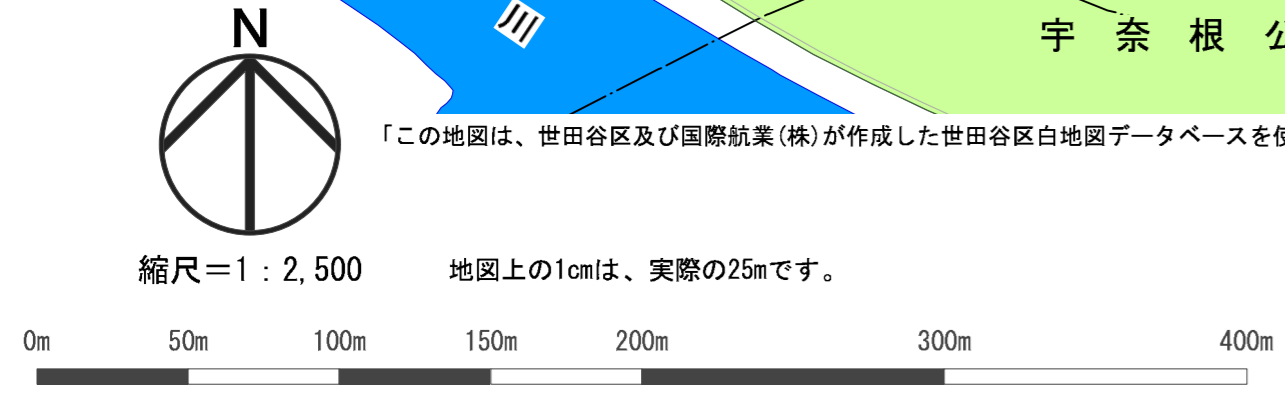
■凡例

避難所	急坂 車いす不可	バス停留所	停留所名
避難経路	防災無線塔<スピーカー>	公共電話<硬貨・テレホンカード>	
野川水道橋・吉沢橋が渡れる場合の避難経路	河川水位確認カメラ	町界	---
水路あり注意	排水ポンプ施設	公園・緑地	
マンホール	信号機	標高	14.0

\*マンホールの位置は現地と整合しないことがあります。必ず現地の確認をお願いします。(出典：東京都下水道台帳)  
\*標高は、東京湾平均海面(T.P.)からの高さ(出典：東京都下水道台帳)



「この地図は、世田谷区及び国際航業(株)が作成した世田谷区白地図データベースを使用して作成しました。」



- マップの使い方
- \*いつも目にするところに置いておきましょう。
1. 自分の家を確認し印をつけます。
  2. 家の近くのみどり色の矢印→をたどり、避難所と避難経路を確認します。
  3. マンホールなど、避難経路上にある危険物を確認し、地図に記入します。
  4. 実際に歩いてみて、かかった時間やルートを図に記録します。
  5. 自分の家の独自の避難地図(マイマップ)を完成させ、避難時に備えます。

本マップは野川・仙川版のはん濫情報です。  
多摩川のはん濫情報は、世田谷区危機管理部災害対策課より発行している「世田谷区洪水ハザードマップ」の多摩川版を参照して下さい。多摩川版は、200年に1回起こる程度の大雨(多摩川流域の2日間総雨量457mm)をもとに、大雨時に多摩川上流の堤防が決壊し、洪水が発生した場合の浸水予想区域や浸水の程度、避難所等を示したものです。

# 避難情報の種類と内容

\*夜間に移動の際は、充分にご注意ください\*

発表・発令主体	気象庁		東京都・気象庁
内容	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	(洪水予報に基づく) 氾濫危険情報
河川の状況	河川はん濫の危険性は現時点では低い。	水位上昇、はん濫の危険あり。	はん濫の危険性が高まっている。
呼びかけ内容	今後の避難情報に注意し、必要に応じて避難の準備を開始してください。特に、お年寄りや病気の方など、避難行動に時間のかかる方は早めの避難準備を開始してください。	周囲の状況を確認し、必要に応じて自主避難を検討し始めてください。	気象情報・周囲の状況を確認し、避難の準備を始めてください。 ※野川・仙川洪水予報河川の運用について 野川・仙川は、東京都水防計画で洪水予報河川に指定されています。洪水予報河川では、気象庁の1時間先までの雨量予測をもとに、東京都が水位の変動を予測し、河川が氾濫するおそれのあるときに、東京都と気象庁が共同で「氾濫危険情報」を発表します。
情報の収集先及び提供手段	①世田谷区雨量水位情報ホームページ / ②世田谷区災害情報テレホンサービス / ③東京アメッシュ(ホームページ) / ④メール配信サービス / ⑤防災マップアプリ / 町会へFAX		

## 大雨・洪水警報、氾濫危険情報

が発表された際に、世田谷区から右記の情報が発表・発令されることがあります。



発表・発令主体	世田谷区	
内容	高齢者等避難	避難指示
河川の状況	はん濫の危険性が高まっている。	はん濫寸前もしくは河川の一部がはん濫。
呼びかけ内容	気象情報・周囲の状況を確認し、避難の準備を始めてください。避難行動に時間のかかる方は、避難を開始してください。 (マンション住まいの人は3階以上に、戸建ての人は周囲の安全な場所もしくは区が開設した避難所に避難をしてください。) ※野川・仙川は、流域が狭く、増水から洪水までの時間的な猶予がないことから、高齢者等避難の発表なく、避難指示が発令されることが想定されますのでご注意ください。	ただちに避難を開始してください！
情報の収集先及び提供手段	④メール配信サービス ⑥エフエム世田谷(ラジオ) ⑦ケーブルテレビ	⑧防災無線塔のスピーカー・広報車 ⑨防災無線電話応答サービス 町会へFAX

# 情報の収集先及び提供手段

- ①世田谷区雨量・水位情報ホームページ  
野川・仙川などに水位計と水位確認カメラを設置しています。区内の中小河川の水位に関する情報をリアルタイムで提供しています。  
世田谷区ホームページ <http://www.city.setagaya.lg.jp/> (PCのみ)  
くらしのガイド⇒救急・防犯・防災⇒防災・災害対策⇒家庭の備え  
⇒災害時の情報収集方法 ⇒ 世田谷区雨量・水位情報ホームページ  
<http://micos-sb006.on.arena.ne.jp/setagaya/>
- ②世田谷区災害情報テレホンサービス  
電話音声自動応答によって、気象警報や局地的な大雨等に関する注意情報などを提供します。  
専用電話番号 0180-99-3151
- ③東京アメッシュ(ホームページ) <http://tokyo-amejwa.or.jp/>

- ④メール配信サービス(災害・防犯情報メール配信サービス)  
携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、地震や気象警報、雨量、河川水位等の情報を提供しています。配信を希望する方は下記サイトより登録してお申し込みください。  
世田谷区ホームページ <http://www.city.setagaya.lg.jp/> (PC・携帯電話共通)  
くらしのガイド⇒救急・防犯・防災⇒防災・災害対策⇒家庭の備え  
⇒災害時の情報収集方法 ⇒ 災害・防犯情報メール配信サービス  
⇒登録用のメールアドレスに空メールを送信すると案内メールが返信されます。  
⇒案内メールに添付されている関連ホームページに接続して登録手続が完了です。
- ⑤防災マップアプリ  
あらかじめスマートフォン・タブレットに地図をダウンロードすれば、インターネットに接続できない状況(オフライン)でも区内の避難所の位置が確認できます。GPS機能がある端末では最寄の避難所や広域避難場所を検索することができます。

- ⑥ラジオ **エフエム世田谷 周波数FM 83.4MHz**(メガヘルツ)
- ⑦ケーブルテレビ イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- ⑧防災無線塔のスピーカー・広報車  
防災無線や広報車のスピーカーから、防災情報を放送します。  
一放送例「こちらは世田谷区役所です。〇〇川の水位が上昇しています。〇〇へ避難して下さい。」
- ⑨防災無線電話応答サービス  
防災無線の放送内容が聞き取れなかった時に自動録音された放送内容(24時間以内に放送された内容のみ)を聞くことができます。  
専用電話番号 050-5536-6957

## 大雨に備えて、早めに土のうを用意しましょう

- 土のうステーションについて(土のうがなくなった場合など)  
土木計画調整課 TEL 03-6432-7954  
FAX 03-6432-7993
- 土のうステーション以外の、土のうに関するご相談  
粘土土管理事務所 TEL 03-3417-9571  
FAX 03-3417-9573

# 水害時の避難の心得

## 自宅滞在の心得

**避難情報に注意を**  
大雨の時は、スピーカーの放送が聞きとりづらくなるので、避難情報などに注意を払いましょう

**排水はなるべく避けましょう**  
一度に多くの水を流すと河川の増水につながります

**大事なものは上層階に避難**

**被害を最小限にするために**  
外からの浸水にそなえ、土のうやタオルなどで扉の下などの隙間をふさぎましょう

**地下室での滞在は危険**  
水圧でドアが開かなくなり閉じ込められることがあるので、地下室での滞在は避けましょう

**家を出る前に**  
電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下通気口などをふさぎ、戸締まりを確認しましょう

## 自宅外避難の心得

**動きやすい服装で**  
長靴や傘は危険です。ヘルメットやひもでしめられる運動靴をはいて避難しましょう

**車での避難はひかえて**  
他の避難者や緊急車両の妨げになったり、閉じ込められる可能性があるためやめましょう

**歩ける水の深さは、ひざくらいまでです**  
それ以上の場合は高所で救助を待ちましょう

**足元に注意を**  
マンホールはふたがはずれることがあるので、近寄らないようにしましょう

**お年寄りや身体の不自由な人の避難に協力を**

**切れた電線には近寄らない**

# 非常時の持ち出し品

- チェックリスト
- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水    | <input type="checkbox"/> ライター            |
| <input type="checkbox"/> 食料品    | <input type="checkbox"/> ローソク            |
| <input type="checkbox"/> 常備薬    | <input type="checkbox"/> 現金(小銭も用意)       |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ  | <input type="checkbox"/> 免許証、健康保険証、預貯金通帳 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯   | <input type="checkbox"/> はんこ             |
| <input type="checkbox"/> 予備の乾電池 | <input type="checkbox"/> 権利証書            |

# 被災後の安全点検

- 台風や豪雨が去った後は危険がひそんでいることが多いので地域で協力しあいながら安全に復旧活動しましょう。
- チェックリスト
- 家の中ではできるだけ風通しをよくして十分乾燥させる。
  - 浸水の被害があったら消毒を念入りに行う。
  - 落下物や倒壊の危険はないか。あればただちに補強や除去を行う。
  - 断線した電線が家屋などに触れてないか。(棒などで安全な場所に移す)
  - 水害を受けたら衛生に注意。水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないように。
  - 活動時にはケガをしないよう肌を露出しない服装で。

## 水害に適応する保険なども調べておきましょう

- 水害は一般的な火災保険・家財補償などでは適応していません。最近、風水害に対応する保険などができました。車の保険においても、風水害を含む保険もあるようです。補償条件も確認しておきましょう。

# 緊急時の連絡先

日頃から家族で情報を共有しておきましょう。

## 家族の連絡先

名前	電話番号	勤め先/学校

町会と連携して、声かけや避難にご協力ください。

## 町会連絡網

どなたから

どなたへ

\*町会では組織図を作成してあります。

## お声かけする方

お名前

ご住所

緊急時の連絡先  
(ご家族やご親戚など)

ひとりぐらしの高齢者などに  
ご近所のひとりぐらしの高齢者や障害のある方にお声掛けをするなど、日頃から気を配りましょう。